

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月8日
【四半期会計期間】	第60期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社サンゲツ
【英訳名】	SANGETSU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 日比賢昭
【本店の所在の場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052(564)3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上原健
【最寄りの連絡場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052(564)3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上原健
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第3四半期 連結累計期間	第60期 第3四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	82,135	86,278	112,118
経常利益(百万円)	5,088	5,253	7,530
四半期(当期)純利益(百万円)	2,875	2,896	4,242
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,744	2,834	3,955
純資産額(百万円)	116,873	117,909	118,084
総資産額(百万円)	135,681	138,565	138,908
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	71.65	72.20	105.75
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	86.1	85.1	85.0

回次	第59期 第3四半期 連結会計期間	第60期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	36.33	29.97

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第59期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、東日本大震災からの復興を背景に緩やかな回復の兆しが感じられたものの、欧州の財政不安など海外情勢による停滞感や円高の定着などにより、厳しい状況が続きました。

住宅市場においては、新設住宅着工戸数が4月から11月までの累計で、前年比3.7%の増加となったものの、9月以降は前年を下回って推移しており、足元は再び弱含んでおります。

このような状況の中、当社グループは多様な新商品を発売し、良品廉価を貫くとともに、非住宅市場やリフォーム市場などの深耕開拓、販路の拡大などによるきめ細かな営業活動を展開しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高86,278百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益5,508百万円（同13.2%増）、経常利益5,253百万円（同3.2%増）、四半期純利益2,896百万円（同0.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

壁装材では、4月に住宅、オフィスから医療福祉施設など各種施設まで使用できる見本帳「ファイン 100」を、10月には建築内装のほか、家具や建具、エレベーター扉などにも用いられる装飾用硬質塩ビタックシートの新見本帳「リアテック vol.7」を発行しました。

カーテンについては、4月に教育、医療、福祉施設などの各種施設でも安心して使用できる全点難燃商品の見本帳「コントラクトカーテン vol.7」を発行しました。また5月には「椅子張総合見本 vol.6」、9月にはオーダーカーテンの見本帳「ソレイユドゥ」を発行し、多様化するニーズに応える豊富な商品バリエーションを収録して販売に努めました。

床材については、7月に「フロアタイル」の新見本帳を発行し、主として商業施設等の非住宅用途で好評を博しました。これらのほか、既発行の見本帳収録商品の拡販にも努めた結果、インテリア事業における売上高は74,195百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は5,189百万円（同7.2%増）となりました。

#### (エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンでは、平成23年3月に子会社化していた株式会社八千代商事を10月1日に吸収合併し、経営資源の集中による効率化やシナジー効果で収益性の追求を図るとともに、新たなユーザーニーズの開拓に繋げ、更なる成長をめざしています。

これらの結果、エクステリア事業における売上高は9,050百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は188百万円（同77.7%増）となりました。

#### (照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社では、節電対策商品の需要の高まりから、可動式アームスタンド「ズライト」などLED照明の売上が伸長した結果、売上高は3,035百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は129百万円（前年同期は営業損失80百万円）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は、88百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	159,000,000
計	159,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,188,240	40,188,240	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	40,188,240	40,188,240		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	40,188	-	13,616	-	20,005

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	
議決権制限株式(その他)	-	-	
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 65,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,095,200	400,952	
単元未満株式	普通株式 27,840		
発行済株式総数	40,188,240		
総株主の議決権		400,952	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」は、全て当社所有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンゲツ	名古屋市西区幅下一丁目4番1号	65,200	-	65,200	0.16
計		65,200	-	65,200	0.16

(注) 当第3四半期会計期間末(平成23年12月31日)の自己株式は、65,200株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合0.16%)となっています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,201	18,482
受取手形及び売掛金	38,477	40,533
有価証券	25,021	24,004
商品及び製品	7,056	9,670
原材料及び貯蔵品	1,248	1,693
その他	1,125	952
貸倒引当金	191	216
流動資産合計	94,939	95,120
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,609	19,716
その他(純額)	8,588	8,211
有形固定資産合計	28,198	27,928
無形固定資産		
その他	511	385
無形固定資産合計	511	385
投資その他の資産		
投資有価証券	3,252	3,000
その他	12,710	12,811
貸倒引当金	703	680
投資その他の資産合計	15,259	15,131
固定資産合計	43,969	43,445
資産合計	138,908	138,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,045	13,169 <sub>3</sub>
短期借入金	-	30
1年内返済予定の長期借入金	21	21
未払法人税等	1,940	896
賞与引当金	895	479
災害損失引当金	164	-
その他	2,049	2,108
流動負債合計	17,116	16,705
固定負債		
長期借入金	162	145
退職給付引当金	2,180	2,381
役員退職慰労引当金	69	73
長期未払金	952	941
その他	342	408
固定負債合計	3,707	3,950
負債合計	20,823	20,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	84,207	84,094
自己株式	122	122
株主資本合計	117,707	117,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	315
その他の包括利益累計額合計	377	315
純資産合計	118,084	117,909
負債純資産合計	138,908	138,565



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	82,135	86,278
売上原価	57,806	61,342
売上総利益	24,328	24,935
販売費及び一般管理費	19,461	19,426
営業利益	4,867	5,508
営業外収益		
受取利息	36	36
受取配当金	57	53
不動産賃貸料	90	90
その他	147	139
営業外収益合計	331	320
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸費用	9	8
為替差損	94	553
その他	3	11
営業外費用合計	110	576
経常利益	5,088	5,253
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	32	-
特別利益合計	33	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	59	3
投資有価証券評価損	86	63
その他	0	5
特別損失合計	147	73
税金等調整前四半期純利益	4,974	5,180
法人税、住民税及び事業税	1,956	2,021
法人税等調整額	142	262
法人税等合計	2,099	2,283
少数株主損益調整前四半期純利益	2,875	2,896
四半期純利益	2,875	2,896

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,875	2,896
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	130	62
その他の包括利益合計	130	62
四半期包括利益	2,744	2,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,744	2,834

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年12月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<p>1 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。</p> <p>(株)コウン 31百万円</p> <p>2 受取手形割引高 137百万円</p>	<p>1 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。</p> <p>(株)コウン 12百万円</p> <p>2 受取手形割引高 89百万円</p> <p>3 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしておりません。なお、当第3四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p>受取手形 1,317百万円</p> <p>支払手形 182</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	984百万円	865百万円
のれんの償却額(注)	78百万円	40百万円

(注) 当第3四半期連結累計期間ののれんの償却額は、平成23年10月に連結子会社株式会社サングリーンが、非連結子会社株式会社八千代商事を吸収合併し、のれんを一括償却したことにより発生したものです。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,504	37.50	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金
平成22年10月28日 取締役会	普通株式	1,504	37.50	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,504	37.50	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金
平成23年11月2日 取締役会	普通株式	1,504	37.50	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	71,150	8,561	2,423	-	82,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	6	6	-
計	71,150	8,561	2,429	6	82,135
セグメント利益又は損失( )	4,843	105	80	1	4,867

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	74,195	9,046	3,035	-	86,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3	0	3	-
計	74,195	9,050	3,035	3	86,278
セグメント利益	5,189	188	129	1	5,508

(注)1.セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	71円65銭	72円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,875	2,896
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,875	2,896
普通株式の期中平均株式数(千株)	40,123	40,123

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成23年11月2日開催の取締役会において、当事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額	1,504百万円
1株当たりの金額	37円50銭
支払請求の効力発生日及び支払開始日	平成23年12月1日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月3日

株式会社サンゲツ  
取締役会御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 服部一利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンゲツの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンゲツ及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。